

平成18年度 第3回 北九州市地方独立行政法人評価委員会

(議事要旨)

1 日時：平成18年6月28日(水) 15:00～17:00

2 場所：市役所庁舎 5階 特別会議室A

3 出席者：

委員(五十音順)

・石田委員長、片山委員、城水委員、福地委員

市側

<総務市民局>

・梅本経営企画室長、中西経営企画室主幹 他

<公立大学法人北九州市立大学事務局>

・丸山事務局次長、江島経営企画課長、大場管理課長 他

4 議題

(1)北九州市立大学における平成17年度業務の実績に関する報告について(説明)

(2)その他

5 議事 (要旨)

	<p>(1)北九州市立大学における平成17年度業務の実績に関する報告 について(説明)</p>
委員長	<p>それでは、北九州市立大学の方より平成17年度業務の実績に関する報告について、ご説明いただきたいと思います。</p>
大学	<p>《北九州市立大学より平成17年度業務の実績に関する報告についての説明》</p>
委員長	<p>ただいま大学側から平成17年度業務の実績(財務諸表及び決算報告を除く)に関しまして説明がありました。委員の皆様、質問・意見等があれば、お願いします。</p>
委員	<p>「学報」は一般の人も見ることができるのですか。</p>
大学	<p>学内での配布に加えて、ホームページ上でも掲載していますので、一般の方も見れる状況にあります。</p>
委員	<p>年度計画の中ではティーチング・アシスタント制度になっていたのが、実施状況等ではスチューデント・アシスタント制度という形に変わっていますがどのように取組が変わったのでしょうか。</p>
大学	<p>全学教務委員会において、クラス担任制度、ティーチング・アシスタント制度、オフィスアワー制度を諮ったのですが、まずどこからとりかかれるのかという点を検討しました結果、まずとりかかることが出来るオフィスアワー制度を平成18年度に実施しようということになりました。それと比較的導入しやすいと思われる、スチューデント・アシスタント制度を導入してみようということになっております。ティーチング・アシスタント制度については引き続き検討することとしています。</p>
委員	<p>スチューデントは学部学生ですか、それとも大学院生ですか。</p>
大学	<p>大学院生も視野にいれていますが、基本的には学部学生です。</p>
委員	<p>アシスタント制度を導入する場合、何らかの手当てがあるのですか。</p>
大学	<p>手当てをつけております。授業1コマ、90分当たり1,500円を予定しています。</p>

委員	教授半数制の見直しですが、どのような必要性があったのですか。
大学	もともと市の一組織の時に定数上で、文部科学省が定めている設置基準に総教員のうち1/2は教授にしなければというのがありまして、これを定数に設定し、今までずっときております。教授数が少ないと2つの弊害がありまして、1つは助教授期間が長くなるとかなり実績のある方は他の大学に転出されるというケースがあります。もう1つは助教授でかなりの方が昇任を待っておりますと、教授を採用することが非常に難しいという学部内の事情があり、人事の停滞を招くということがありましたので、法人化にあわせて教授の制限枠を2/3に緩和して、優秀な方がいれば昇任できる仕組みにしました。その代わりに、昇任にあたっては一定の資格要件、教員評価等を参考にするという形で考えております。どうしても、予算の制約がありますので、無制限に2/3までというわけではなく、予算を見ながら段階的に教授に昇任させるという形で実施しております。
委員	新規教員を採用する時はどういう形態をとっていますか。
大学	従前は学部教授会で基本的に採用を決定していましたが、平成17年度からは教育研究審議会の中に選考委員会を設置し、学部の教員だけではなく教育研究審議会の委員が選考委員に入ります。選考委員長は学部の教員がやります。専門分野に応じては学外の方も選考委員に入るなど透明性が担保されるようにしております。
委員	純粹に公募制なのですか、あるいは教員の関連のあるところから何人が選び、その中でセレクションするのですか。
大学	基本的に公開公募です。ただしビジネススクールの設置などでは、文部科学省に教員の申請を提出して認められる必要があるという前提がありますので、そういう事例については例外的に扱っております。
委員	「都市政策研究所」の設置のめどはどのようなのですか。
大学	平成18年4月に発足しております。
委員	学部学科等の再編で平成19年度を目途とするとありますが、文部科学省に申請するのに時間的に間に合うのですか。
大学	学部の新設となりますと6月末届出になりますが、今のところ学科の改編

	ということになりそうなので、時間的には問題ありません。
委員	教育研究費の執行方法の見直しで、予算内容と比べてどうなのでしょうか。
大学	国立大学の研究費のうち旅費は今18万円ですが、本学の場合地域性等とありますので、教員の利便性を考えて上限を30万円としました。今までは研究費執行の制限がかなり厳しかったのですが、同じ教員研究費の枠内で柔軟に執行できるよう上限を30万円まで引き上げることになりました。
委員	旅費の他に研究費として使っているのはなんですか。
大学	図書の購入、備品消耗品の購入、コンピューターのリース、研究の関係で学生を雇うアルバイトに対する報酬、委託経費等です。
委員	学会の年会費への支出は3学会までとありますが、今までどうだったのですか。
大学	今までは学会の年会費は認めていませんでした。
委員	ESCO事業の導入のところで省エネ効果により毎年度の光熱水費の削減も見込まれるとありますが、どれくらいの金額なのでしょうか。
大学	年間960万円です。
委員	危機管理体制における不審者とはどのような人ですか。
大学	大学は図書館を市民開放しております。その中で飲酒をして入館し、学生にからむようなことが何度かありました。例えばこのような人等を想定しております。
委員	大学院の定員充足率が30%とあるが、たまたま平成17年度だけが低かったのですか。
大学	スタッフ等の問題で一時期志願者が減ったと思われませんが、今後は回復できると思います。
委員	中期目標で目標就職率90%以上とありますが、平成17年度の実績はいかがだったのでしょうか。

大 学	92.4%です。
委 員	ただ、問題は就職後ミスマッチが何割かありまして、2、3年のうちに離職したり、転職したりする率が全国的にはかなり多いのですが、これについてわかりますでしょうか。
大 学	実態は把握してないのですが、そのような反省もありましてキャリアセンターを設置しました。今までの入れる企業というのではなく、自分が勤めたい企業を学生自らが探すということを目的にキャリアデザインという科目も設けることとしました。本学では平成18年4月から全学科でやっております。
委 員	中期項目の129番で学部長の選出方法の見直しとありますが、どのように見直したのですか。
大 学	今までは基本的に各学部で学部構成員の選挙で決定していましたが、各学部から複数の方を学長に推薦していただいてその中から学長が選ぶということに変更しました。
委 員 長	他に質問等はありませんか。それでは次に、財務諸表等についてご説明いただきたいと思います。
大 学	《北九州市立大学より財務諸表等についての説明》
委 員 長	ただいま大学側から財務諸表等に関しまして説明がありました。委員の皆様、質問・意見等があれば、お願いします。
委 員	貸借対照表に寄附金債務が約7,100万円ありますが、どこかに寄附しなくてはいけないのですか。
大 学	大学の先生方が企業等から寄附を受けて研究をすることについて、債務を負うという考え方をとっておりますので、このような形で計上しております。
委 員	資本剰余金でマイナスになっているのにPL(損益計算書)に載せない減価償却費の対象は何ですか。
大 学	現物出資されました建物の分です。

委員	退職給与引当金はとらないのですか。
大学	退職給与引当金につきましては、地方独立行政法人に適用される会計基準において設置者からの運営費交付金で措置される場合は計上しないという規定がありますので、貸借対照表には計上していません。
委員長	<p>(2) その他</p> <p>それでは議題2とすることで次回の予定等について事務局の方宜しく願います。</p>
事務局	<p>次回の第4回委員会では、大学からのヒアリングを行い審議いただきます。また、市の産業学術振興局から「財務諸表と剰余金の繰越に対する承認」につきまして、市の考え方を説明させていただきます。第4回委員会の日程につきましては、7月3日の13時からお願いいたします。また、委員の皆様の評価を『評価調書』にご記入いただき、「7月14日(金)事務局必着」にて、ご送付いただきますようお願いいたします。その際、電子メールあるいはフロッピーディスク等にてデータでご送付いただければ幸いです。</p> <p>評価調書につきましては、第2回委員会でご確認いただいた様式にて作成しておりますが、改めて何点かご確認させていただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目別の評価については、「評価欄」に（年度計画を実施していない）～（年度計画を上回って実施している）で記載してください。 ・その評価と大学の自己評価（進行状況欄）とで判断が異なる場合は、「評価結果の説明及び特筆すべき事項欄」に特筆すべき点や遅れている点について記述してください。 ・同じ評定の場合、特筆すべきことがあれば記載してください。特筆すべきことがなければ「空欄」でかまいません。その場合、最終的な評価書には、事務局にて『年度計画を概ね順調に実施していると認められる』と記載いたします。 ・分野別評価の「5段階評価欄」には、項目別評価を踏まえ、A（特筆すべき進行状況）～E（重大な改善事項がある）の評価を記載してください。 ・その右欄には、項目別評価を踏まえ、分野ごとの特筆すべき点や遅れている点を記載してください。 ・全体評価の欄には、分野別評価の結果や大学の実績を表す指標（決算報告書や財務諸表等）を参考にしながら、中期計画の進行状況全体について記載してください。 ・なお、「年度評価」においては、中期計画の進行状況を分野別に評価するこ

	<p>ととしているため、先ほど大学から説明のあった財務諸表等については評価調書にはあげておりませんので、意見等がありましたら全体評価欄に記載してください。</p> <p>委員の皆様から提出していただいた「評価」を事務局でとりまとめまして、第5回委員会を開催させていただきます。</p> <p>第5回委員会の日程なのですが、7月20日、21日、25日の中から決めさせていただきたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">《各委員の予定を調整》</p> <p>委員長 それでは、第5回委員会を7月21日（金）15時より開催したいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">《各委員了承》</p> <p>委員長 それでは本日の委員会は終わらせていただきたいと思います。どうもいろいろとありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">委員会終了</p>
--	---